

科目コード 125638a

配当学年 3・4

科目名 韓国文化研究

教員名 古田 富建

【授業の到達目標】

学生が朝鮮半島の様々な「文化」にまつわるピックについて、特に日本のそれと比較しながら理解することができる。

【授業のテーマ】

韓国の文化特に宗教文化や住文化、伝統芸能などの主に「伝統文化」に関する様々な事象を概説していく。

【授業概要】

朝鮮半島の主に伝統文化を中心に現代文化に至るまで出来るだけ幅広いピック(食文化／住環境／日本の中の韓国文化／伝統芸能など)を網羅的に学ぶ。また日本の中に存在するコリアン文化である在日コリアンについても学ぶ。理解を助けるために日本文化との比較もしながら解説する。冬休みには理解を助けるためのDVD(映画)の視聴を宿題として課す。

【準備学習】

韓国・朝鮮半島に関するニュースに意識的に触れること。

事前に配布するレジュメに目を通すこと。

授業中に配布する参考資料を読み込んでくること。

授業終了後に書いてもらうアクションペーパーを次の授業までに提出すること。

【授業計画】

- 1.オリエンテーション・現代日本に見られる韓国文化
- 2.韓国の食文化①(伝統食)
- 3.韓国の食文化②(現代食・作法)
- 4.韓国の住文化(伝統家屋)
- 5.韓国の住環境(現代住宅)
- 6.韓国の巫俗文化①(概説)
- 7.韓国の巫俗文化②(儒教との関係)
- 8.伝統芸能について①:パンソリについて
- 9.伝統芸能について②:映画の鑑賞「春香伝」
- 10.韓国人の一生(イニシエーション)
- 11.世界遺産から見る韓国文化
- 12.在日コリアン文化①:概説
- 13.在日コリアン文化②:歴史
- 14.在日コリアン文化③:文化と社会との摩擦
- 15.まとめと到達度の確認

【評価方法】

到達度の確認(50%):持ち込み不可

小レポート(20%)

平常点:リアクションペーパーの提出(30%)

【テキスト】

使用せず。

レジュメを配布

(テキスト ISBN)

【参考文献】

適宜授業内で紹介する。

【オフィスアワー】

追って知らせるが、メールなどで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

・韓国専攻(古田(富)ゼミで卒業研究に取り組む予定の者)志望者は必ず履修すること。

・私語や携帯いじり、意図的な居眠りなど教員や他の受講生の授業の妨げになる行為を行う者に対しては厳しく対応する。

・「リベラルアーツ入門Ⅱ(韓国)」「韓国社会文化概論」の知識を前提に話をする。2つの科目を同時履修もしくは履修後に本講義を履修することを薦める。必ず1つは履修することを履修条件とする。